



## 殺虫剤

# スピノエース™フロアブル

## 園芸用殺虫剤

(Spinoace™ SC)

農林水産省登録  
第20174号



種類名／スピノサド水和剤

有効成分の種類及び含有量／スピノサド……………20.0%

その他の成分の種類及び含有量／水、界面活性剤 等……………80.0%

物理的・化学的性状／類白色水性和性粘稠懸濁液体

毒劇法／該当なし

消防法／該当なし

有効年限／5年

包装／250ml×20本 ダンボール箱

TM®：コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

## 特長

- スピノサドは、土壌放線菌が産生する天然物由来の殺虫剤で、食毒または接触毒により害虫の神経伝達系を攪乱し、殺虫効果を発揮します。
- スピノサドは、米国・EU・台湾の「茶」における残留農薬基準値（インポートトレランス）が設定されています。
- 独自の作用機作が既存の抵抗性害虫にも効果を示し、優れた速効性・耐雨性により、通常の条件下で7～10日以上以上の安定した残効性を発揮します。
- ハマキムシなどのチョウ目害虫、広範なアザミウマ類に優れた効果を示す、果樹・茶用殺虫剤です。
- ハチ類に直接かかると影響があります。ミツバチおよび巣箱には直接薬剤がかからない様に注意してください。
- 蚕には長時間毒性がありますので、付近に桑園がある所では使用しないでください。



## 有機農産物・特別栽培農産物とスピノエース™

有効成分のスピノサドは、有機JAS規格の基準に合致する資材（別表2の農薬）に記載されていますので、有機農産物に使用する事ができます。また、特別栽培農産物の使用回数にカウントされない農薬としても認められています。

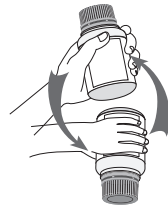
適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	10アール 当り 使用用量	使用時期	本剤およびスピノサド を含む農薬の 総使用回数	使用 方法
かんきつ	アザミウマ類 ミカンハモグリガ ナミアゲハ	4000~6000	200~700 ㍓	収穫7日前 まで	2回以内	散布
	ヨモギエダシャク	4000				
りんご	ハマキムシ類 キンモンホソガ	2000~3000				
	モモシンクイガ	2000				
もも	ミカンキイロアザミウマ	4000~6000				
	シンクイムシ類	2000~4000				
	モモハモグリガ	2000~6000				
	リンゴコカクモンハマキ	4000				
すもも	スモヒメシンクイ	4000				
ネクタリン	ミカンキイロアザミウマ	4000~6000				
	シンクイムシ類	2000~4000				
	リンゴコカクモンハマキ	4000				
	モモハモグリガ	2000~6000				
さんしょう (果実)	アザミウマ類	5000				
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ	2000~4000	200~400 ㍓	摘採7日前 まで	2回以内	
	チャハマキ ヨモギエダシャク	4000				
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ幼虫	200倍	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5㍓) 1箱当り0.5㍓	移植当日	1回	
	イネドロオイムシ			移植3日前 ~移植当日		

青文字の作物名はグループ化されていますので詳細は(独)農林水産消費安全技術センターのウェブサイトをご参照ください

上手な使い方

- 本剤は植物体上での移行性はありません。害虫発生初期に葉裏までむらなく付着するよう十分量を散布してください。
- 抵抗性回避のため、ハマキムシ類、アザミウマ類への連続散布はさけ、ラベルの使用回数内であっても、必要があれば作用機作の違う剤とのローテーションを病害虫防除指導関係機関とご相談ください。
- 薬剤を取り出す前に、容器を軽く上下に反転させ、薬剤を均一な状態にしてください。激しく振って泡立ってしまった場合は重量で計算してください。  
(本剤の比重はほぼ1なので、1gは1mlに相当します)



**使用上の注意**

- 本剤は懸濁性液体なので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。なお希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤は、植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れがある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の事に注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
  - ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園などでは、使用をさけてください。
  - ・関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など）に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチへの危害防止に努めてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具および容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空容器は水産動物に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特にはじめで使用する場合は、病虫害防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめで使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所など関係機関の指導を受けてください。

**安全使用上の注意**

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 水産動植物**…水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- ・使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管**…直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。